

会員企業による業界2015年の見通し

景気動向アンケートより

“IoT元年”とも言わされた2014年、ITやエレクトロニクス業界にも景気回復の兆しがあった。期待感を抱えつつ迎えた2015年、組込み業界の景況はいかなるものか。会員企業による「景気動向アンケート調査」から企業の現状、業界予測を報告する。

事業内容	社
組込みシステム開発・受託	20
組込みソフト開発・受託	32
組込みハード開発・受託	13
汎用系ソフト開発・受託サービス	14
情報サービス	6
Sler	5
OEM(製造)	5
コンサルティング	4
商社	4
ベンダ・メーカー	4
その他	3

表1 回答企業の主たる事業(複数回答)

Q. 2014年の貴社の業績はいかがでしたか?

今回の結果では「良かった」が前回よりほぼ倍増となる34%の回答があった。前回は若干増加していた「悪かった」との回答は35%から12%まで激減したことからも、景気回復の兆しであると見て取れる。

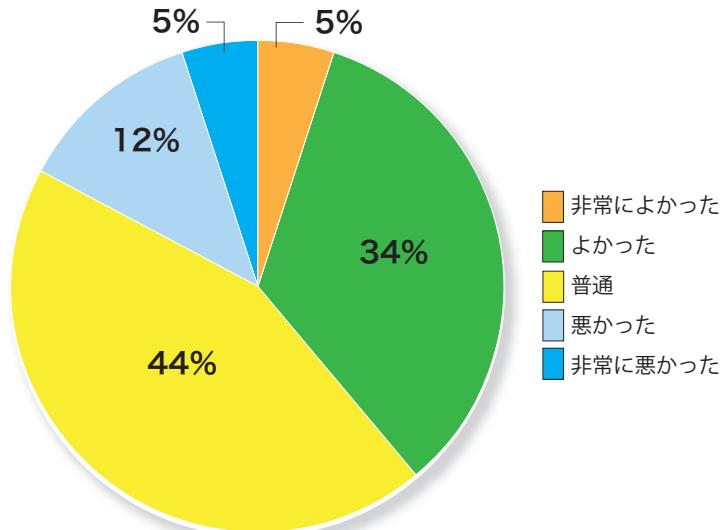


図1 2014年の貴社の業績はいかがでしたか?

Q. 前年と比較して2014年の業績は?

各社の対前年比でも、「良かった」との回答が32%から41%に増加。前回結果とほぼ同じ増加率となり、年々上昇傾向にあることが伺える。「悪かった」「非常に悪かった」は19%にとどまった。

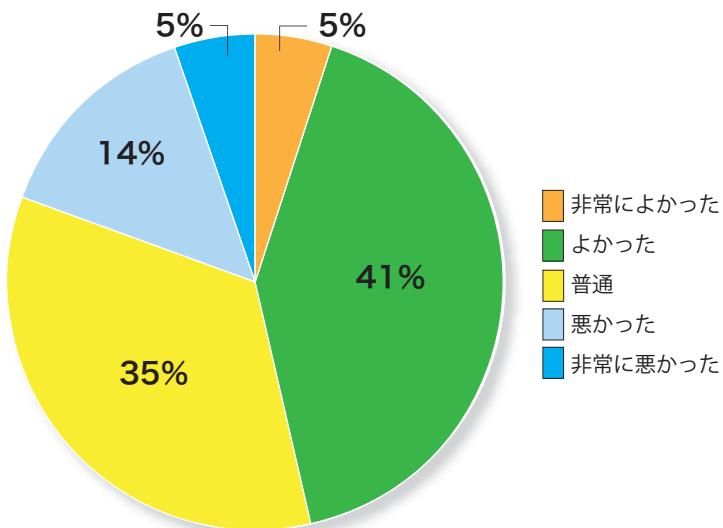


図2 前年と比較して2014年の業績は?

Q. 2014年業績の伸び率は?

伸び率では、「30%以上」の大幅増となった企業は5%と前回から半数に減少したものの、前回0%だった「30~20%」が8%となった。「20~10%」を含めた二桁成長は27%で、前回結果より4%増える結果となった。また23%の企業がマイナスと回答したものの、6%あった「-30%以上」の回答はなく、前回の6%から11%となった「0~-9%」の減少幅に収まった感がある。

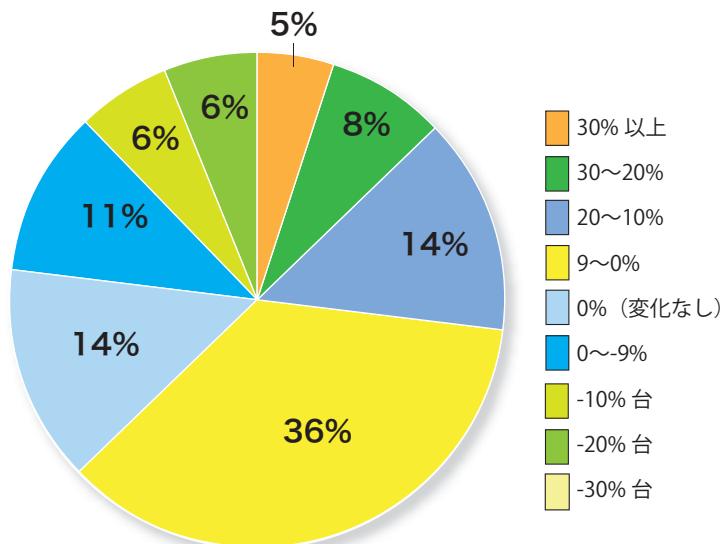


図3 2014年業績の伸び率は?

Q. 業績に貢献した部門は?

業績に貢献、または補完した部門を問う質問では、最も回答が集まった「製作・製造」以下、順位に変化はないものの、2番目の「研究・開発」が31%から21%に減少している。「製作・製造」が前回の37%からさらに増えたほか、「サービス」が3%から6%に、「その他」が3%から10%に増えた。「その他」にはソフトウェア検証部門、コンサルティングといった回答があがった。

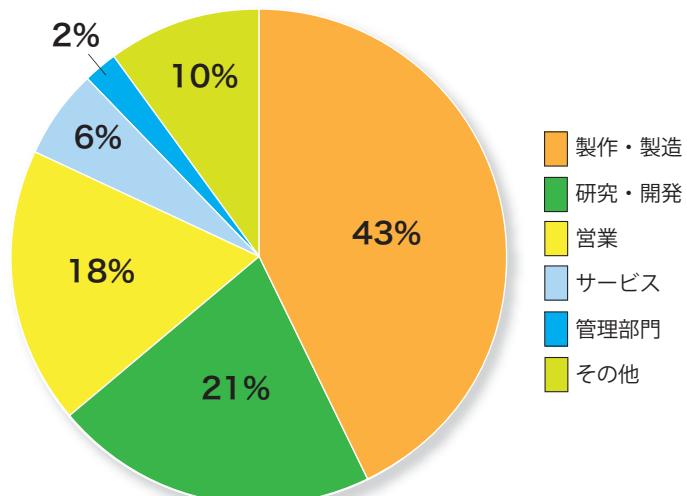


図4 業績に貢献した部門は?

Q. 今後補強したい部門は?

今後補強したい部門は、前回最も多かった「営業」が42%から20%に大幅に減少、「研究・開発」が29%から33%に、「製作・製造」は13%から倍となる26%の回答が集まった。上記設問と併せ読むと、「営業」の補強で案件を増やし「製作・製造」の遂行で業績向上につなげたい意向が見て取れる。また2%から9%に増えた「その他」には、ソリューション販売、技術、ソフトウェア検証部門、コンサルティングとの回答があがった。

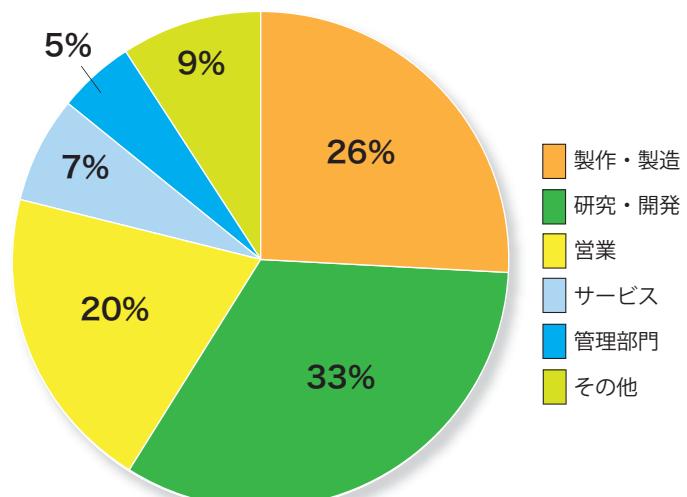


図5 今後補強したい部門は?

Q. 円安や株価、また国際情勢による影響は?

円安や株価、国際情勢による影響を受けた企業では、「円安の影響を受けた」との回答に集中した。特に夏場以降、加速がついたかのような急速な円安傾向は、少なからず複数の企業に何らかの影響をもたらすこととなった。

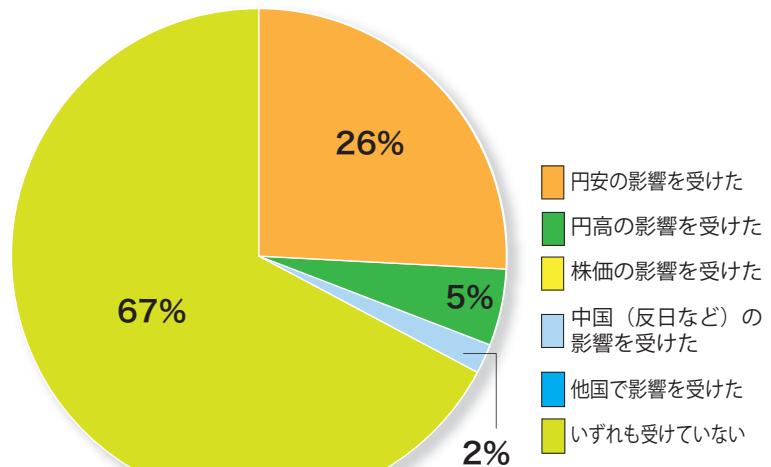


図6 円安や株価、国際情勢による影響を直接受けましたか？

Q. 技術者の雇用状況は?

技術者・従業員の雇用状況を問う質問では、前回同様「不足(積極的に採用していく)」に最も多く回答が集まった。注目すべきは数値で、2013年から見ると38%から56%、そして今回の70%まで上昇、右肩上がりの急カーブを描いていることがわかる。「不足(採用は控える)」を含め、不足とする企業は83%まで増えた。

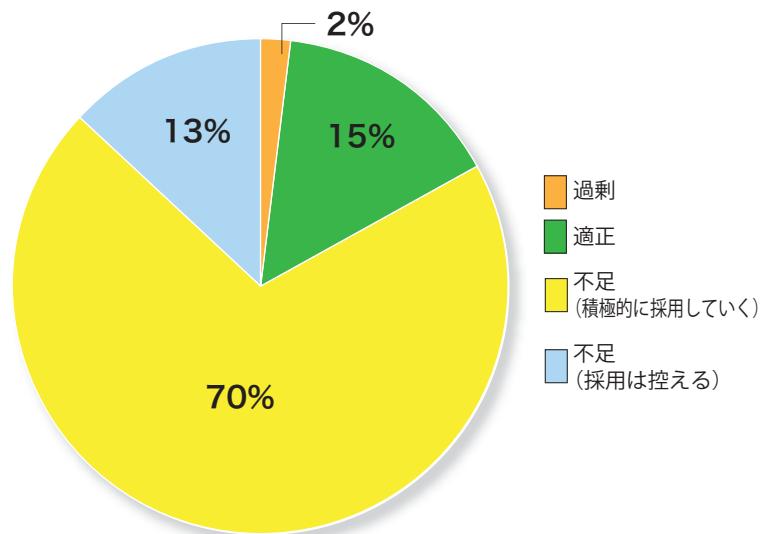


図7 技術者の雇用状況は?

Q. 2015年組込みシステム関係の景況は?

2014年の好結果からか、2015年の組込み業界の景況について「良い」とする回答が半数に迫る47%にものぼった。「非常に良い」(3%)を加えるとちょうど半数が良好と見ている。前回は半数近くから19%まで激減した「悪い」と見る回答は、今回更に14%に減少した。

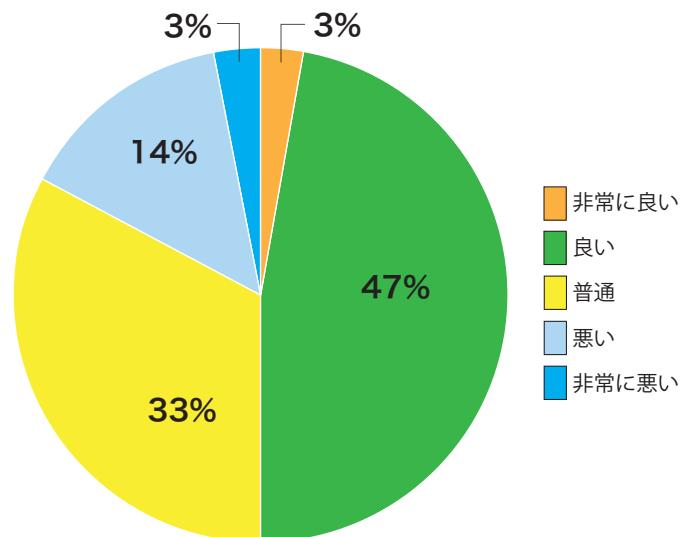


図8 2015年組込みシステム関係の景況は?

Q. 2015年の貴社の業績は?

自社の業績についても、組込み業界の景況予測がそのまま当てはめたような回答となった。「良い」と見る回答が38%から46%に上昇、「非常に良い」をあわせほぼ半数が業績向上と予測している。

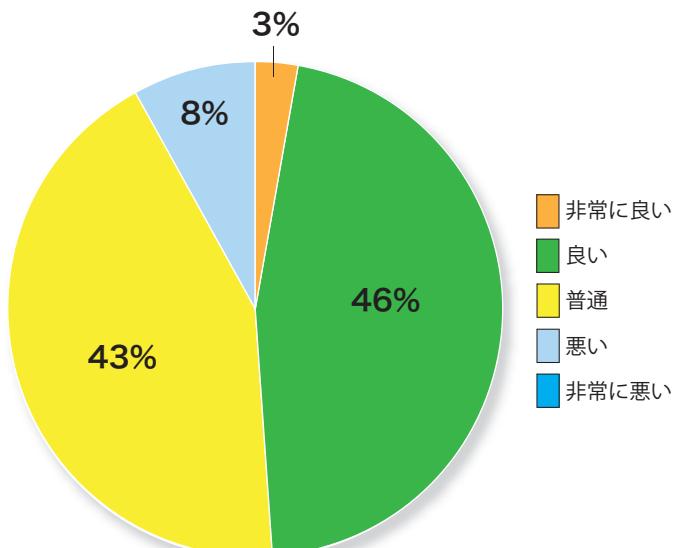


図9 2015年の貴社の業績は?

Q. 貴社が成長を期待する分野は?

成長を期待する分野では前回とほぼ同じ結果となった。「オートモーティブ、交通システム」が20%から17%と若干減少したものの、最も多く回答が集まった。前回より増えた分野は「環境、エコ」「航空・宇宙」「ロボティクス」「農業関連(アグリ)」。なお「その他」の回答には防災関連があがった。

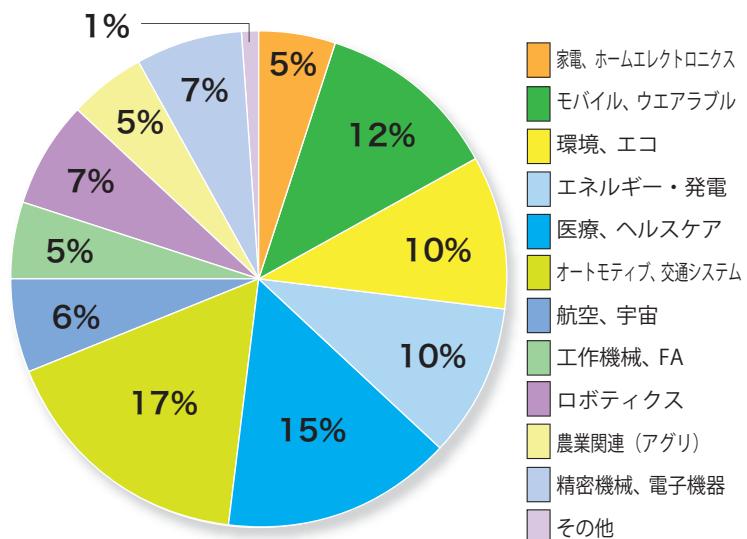


図10 貴社が成長を期待する分野は?

Q. 2015年貴社にとってのキーワードは?

この1年の自社にとってのキーワードは、キーテクノロジーや応用分野に類するものと、自社の環境や意識改善に類するものに大別されるワードがあがった。それぞれでのキーワードを取り上げてみたい。

■キーテクノロジー、応用分野

- IoT/M2M
- クラウド
- ロボット
- カメラ
- GNSS
- センサーネットワーク
- 4K、デジタルサイネージ
- 組込みセーフティ&セキュリティ
- 環境対応車
- 農業、医療、観光分野
- ソフトウェア第三者検証
- 接続性検証

■自社の環境改善・意識改善

- 「人財育成」「チーム」
- 売るチカラ
- 若手社員の育成と技術向上
- 成長
- 提案力向上
- 第二創業
- 経営資源の選択と集中
- 自社製品開発
- 技術と創造力で社会基盤を支える卓越したIT企業へ
- 受託型から自社製品・サービス販売への転換期
- 事業の持続的かつ健全な発展